一麦出版社の新刊

◎10月25日発売

『新しい人 新しい言葉』

――戦後日本のキリスト者詩人たち

木下裕也

定価1980（本体1800＋消費税）円

四六判・98頁

ISBN978-4-86325-153-3 C0095

「古い人から新しい人へ」――
戦後日本を生きた
キリスト者詩人たちに光をあて、
その新しい言葉を
牧師であり詩人である著者が
真摯に解き明かす。（時澤博）

石原吉郎――深き淵より
志樹逸馬――命の水をすくう
島崎光正――分水嶺
藤一也――火の中で
桜井哲夫――新しい人
今駒泰成――「夜」と「混沌」の言葉
片瀬博子――波打際の決意
森田進――詩と信仰の接点
柴崎聰――想念の形象化
中村不二夫――「たたかい」と「やさしさ」
川中子義勝――審判と救済の言葉
――〈目次〉より

〈著者紹介〉

木下裕也　KINOSITA Hiroya

1963年，名古屋市に生まれる．1987年，愛知大学文学専攻科（国文学）修了．1993年，神戸改革派神学校卒業．日本キリスト改革派豊明教会牧師，名古屋教会牧師を経て，現在岐阜加納教会牧師．神戸改革派神学校講師（歴史神学）．著書『岡田稔の神学――神の主権と恩恵に生きた神学者』一麦出版社，2021年，『植村正久の神学理解――『真理一斑』から「系統神学」へ』一麦出版社，2013年，『詩集　梯子』土曜美術社出版販売，2022年，『詩集　落ちかかるもの』土曜美術社出版販売，2018年．ほか

著者の本

▶『植村正久の神学理解』　定価4,620［本体4,200＋税］円

▶『岡田稔の神学』　定価6,160［本体5,600＋税］円